

## 2019 年度中部ブロック交流会報告

期日：令和 2 年 2 月 29 日

記録：ハイジアルペンクラブ 遠藤哲雄

新型コロナウイルス感染拡大の余波を受けて、令和 2 年中部ブロック交流会は例年どおりの交流集会をとりやめ、バードウォッチングのみの開催となった（実のところは、交流集会予定会場「北本市野外活動センター」が閉館となったためであるが）。

北本駅西口よりバスに乗車し「埼玉県自然学習センター」に移動する。現地合流を含めて総勢 15 名が講義室にて、学芸員、高野さんより自然観察公園の説明を受けた後、高野さんの案内により、バードウォッチングを開始する。今年は暖冬のため、山間部より降りてくる鳥類が少ないこと、アライグマの繁殖により餌となるアカガエルが減少していることから、例年に比べて鳥の数が少ないとの説明を受けたが、会場よりお借りした双眼鏡を使用し、例年どおりの観察ができたようである。

バードウォッチングに関すること以外にも、江戸彼岸桜の原木、平家螢の繁殖地などの説明を頂き、新たな知見を得ることができた。結局のところ、27 種（鳴き声のみを含めて）の鳥に出会うことができたほか、梅の花を堪能することもできた。

交流会は中止となったものの、屋外で弁当を食した後、北本駅前にて有志による意見交流会を行い、今後の中部ブロック活動に対する思いを述べあったという、有意義な一日であった。



学芸員、高野さんの講義を受ける



会場より借用した双眼鏡でウォッチング



高野さんから鳥に関する説明を受ける



梅林の脇を歩く



キセキレイ



カワセミ



コゲラ



ヤマガラ

新型コロナウイルスの影響で参加できなかった人もいましたが6団体14名の参加がありました。中部ブロック会員の皆さんが色々準備してくださいましたが急遽予定変更と人数変更であわだしく修正していただきました。ありがとうございました。各会の交流会はできませんでしたがバードウォッチングは出来ました。ありがとうございました。

中部ブロック長 羽竜